

# ワクチンすんだ？ ウンすんだ



Illustration : Wada Makoto



ワクチンの目的は病気の予防。だから、げんきな子にしか打てません。愛猫をとりまくこわいウイルスは、子猫だけではなく、成猫だってねらっています。大きな猫も小さな猫も、ワクチンは一生のおつきあい。

## 健康へのスタートはワクチン接種から。

### 健康へのスタートはワクチン接種から

まず「予防」、そして「健康をつくる」へ。  
愛猫の、からだ・こころ・環境をトータルに整えるヘルスケア。  
よい飼い主であるあなたの協力がが必要です。

### 愛猫のための ワクチン憲章

いま、ペットとの暮らしが、かつてないほど多くの人々の関心をよんでいます。それは、人の動物に対する考え方、付き合い方の変化と対応しています。もはやペット（愛玩動物）というより、人生のコンパニオン（伴侶）であり、ファミリー（家族の一員）であるといった関係にあるからといえるでしょう。

すでに人間社会で多くの役割を担っている愛すべき動物たち。かれらの健康を守り、少なくとも予防できる病気で、死にいたることのないようにすることが、私たちの願いです。

動物用医薬品 (要指示) 動物用医薬品 (要指示) 動物用医薬品 (要指示)

#### フェロバックス<sup>®</sup>3

猫ウイルス性鼻気管炎  
猫カリシウイルス感染症  
猫汎白血球減少症

#### フェロバックス<sup>®</sup>5

猫ウイルス性鼻気管炎  
猫カリシウイルス感染症  
猫汎白血球減少症  
猫白血病ウイルス感染症  
猫クラミジア感染症

#### ファイキジ<sup>®</sup>FeLV

猫白血病不活化ワクチン

FONT DODGE

フォードダッグアニマルヘルス  
登録商標

人と動物と環境の共生をになう  
**共立製薬**  
東京都千代田区九段南 1-5-10



#### 初めてワクチン接種をする方へ

- 初めてのワクチンでは、確実な免疫をつくるために複数回の注射が必要です。注射後免疫ができるまで約3週間は、病気の動物に近づけないようにしてください。また、年1回の追加接種が必要です。
- 注射後は、はげしい運動やシャンプーはひかえてください。
- ときに接種反応がでることがあります。注射部分の痛みや腫れ、元気や食欲がなくなる、顔や眼が腫れるアレルギー反応などがみられたら、すぐに当院へご連絡下さい。

ワクチン接種のご相談は当院へ



## 2 ねこ 猫カリシウイルス 感染症

かかりはじめはクシャミ、鼻水、発熱など、猫ウイルス性鼻気管炎にたいへんよく似ています。症状が進むと舌や口の周辺に潰瘍ができることもあり、また、ときには急性の肺炎を起こして死亡することもあります。



## 3 ねこ はん はっ けつ きゅうげんしゅうしやう 猫汎白血球減少症

白血球が極端にすくなる病気で、パルボウイルスが病原体。高熱、嘔吐、食欲がなくなり、下痢がはじまると脱水症状となります。体力のない子猫などは、たった1日で死ぬこともあるこわい病気です。



感染によってダメージを受けた小腸

今、ワクチンで予防できる猫の病気は5つです。どのワクチンをいつ注射すればよいかは、猫の年齢やライフスタイルによつてちがってきます。獣医師の先生とよく相談して、恐ろしい伝染病からあなたの愛猫を守ってあげてください。

## 4 ねこ 猫のクラミジア病

クラミドフィラ フェリスによる感染症。菌は眼や鼻から侵入するため、結膜炎、鼻水、クシャミ、セキがみられます。肺炎を起こすこともあります。ヒトに感染して結膜炎が起きた例も報告されています。



## 5 ねこ 猫ウイルス性鼻気管炎

ヘルペスウイルスによる感染症で、ひどいクシャミ、セキ、鼻炎などの呼吸器症状のほか、結膜炎をひき起こします。高熱で食欲はなくなり、鼻水と涙で顔中クシャクシャ、典型的なカゼの症状がみられます。



## ねこ はっ けつ びやう 猫白血病ウイルス 感染症

持続感染すると80%が3年以内に死亡します。白血病やリンパ腫などの血液のガン、貧血、流産などを起こします。病気に対する抵抗力（免疫）が弱まるため、いろいろな病気も併発しやすくなります。感染してから発病までの期間がたいへん長く、その間は見かけ上健康にみえますが、ウイルスを排泄し、他の猫へうつします。



写真提供：山陽動物医療センター

獣医師の先生とよく相談して、恐ろしい伝染病から

あなたの愛猫を守ってあげてください。



# ペットのげんきは 家族のげんき

5つの感染症が予防できます。猫を飼いはじめたらすぐご相談ください。

☆感染してしまったら、命にかかわるだけでなく、あなたの猫が他の猫への感染源となってしまいます。猫たちのためにも、しっかり予防しましょう。